

# 平成 29 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修への出席

共通機器部門 情報基盤機器管理班 落 祥弘

## 1. はじめに（目的等）

中四国地区における技術職員の対応技術の方向性や動向を確認するため、上記 研修に参加して技術研修・講演会聴講を行う。

## 2. 期間・場所

期間 平成 29 年 8 月 30～9 月 1 日（3 日間）

場所 山口大学常盤キャンパス(〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2 丁目 1 6-1)

## 3. 参加者等

受講者 全国 技術職員：約 40 名

## 4. 研修内容

講演聴講、技術研修会、意見・情報交換

## 5. まとめと感想

### 全体講義

国立大学法人山口大学の現状、そしてこれから（2017/8/30）

山口大学技術職員組織の全学化に向けた取り組み

### 宇宙利用のすすめ

大学の現状に合わせた変革の実際について講演を伺った。各大学の強み・特色により学科・学部再編など大きく変化しており、大学による所在地への経済効果に注目し、運営における収入源への対応などに配慮した大学運営を行うために求められる、技術職員像と組織体系について具体的な内容を聴講できた。

### 分野別演習

技術研修会 情報系分野 Raspberry Pi を活用したプログラミング入門（2017/8/31）

実機を使用したセットアップ、演算処理プログラミング・I2C IF を用いた温度測定演習に参加した。実用的な内容であり、IOT において注目されているデバイスを用いて、教育・研究用途を短時間で学習できる有用な内容となっていた。研究装置の監視デバイスとして、本学での運用を検討したい。

### 全体講義

宇宙国際ステーション・「きぼう」日本実験棟初の燃焼実験

マイクロコンピュータを用いた空気圧アクチュエータの制御

技術系職員として知っておきたい知的財産の基礎知識

山口大学では設備サポート・産学連携・知的財産などの研究支援分野の活動に意欲的で、さまざまな活動を実践している。それらの活動がどのように技術職員に関わってくるか参考となる情報を得ることができた。実業務において、これらの事例を参考にしたい。